

地域での取り組み

地域で行われた取り組みを紹介するコーナーです。

■木川地域 もちつき大会

12月11日(日)、木川小学校で地域の「ふれあいもちつき大会」が開催され、子どもからお年寄りまで約700名がお椀とお箸持参で参加。地域のみんが楽しみにしている恒例行事を実施するため、食中毒予防など、多方面にわたって細心の注意を払っているスタッフの方々の想いを随所に感じました。



■東三国地域 防災訓練

1月14日(土)、東三国小学校で地域の防災訓練が開催されました。小学校の土曜授業との合同訓練で、児童や保護者、地域住民、東三国中学校のジュニアリーダーなど、総勢約500名が参加。児童も住民も一時避難場所に集合後、一緒に小学校まで避難し、煙中体験やパケツリレー、クロスロードゲームなどに取り組みました。



■十三地域 新年祝賀会

十三地域の新年祝賀会が1月9日(祝)に開催されました。「新年互礼会」「新成人を祝う会」「餅つき大会」をまとめた冬の一大イベント。地域で育った新成人が、晴れ着姿で舞台に並んで挨拶を行い、餅つき大会に集まった地域の幅広い世代の方が、拍手でお祝いしていました。



■神津地域 ガレージセール

2月11日(土)、神津福祉会館で神津地活協と神津廃棄物減量推進委員会の共催でガレージセールが行われました。地域の方々から不用になった服、靴、食器、台所用品、タオル、カバン、小物などを寄付していただき、それを廉価で販売。今回で5回目の開催で、すっかり恒例となっているようです。



■西三国地域 防災訓練

2月25日(土)西三国地域で西三国小学校との合同防災訓練が実施されました。地域、保護者、児童合わせて648名が参加、パケツリレーや担架による負傷者搬送訓練など四つのプログラムの体験、訓練が行われました。訓練終了後は児童の引き渡し訓練もあり、学校・家庭・地域が一体となって防災への関心と意識を高める一日となりました。



■宮原地域 防災訓練

2月26日(日)、三国本町公園で宮原地域の防災訓練が実施されました。地域の皆さんは給水訓練、消火訓練、負傷者搬送訓練、煙中体験、パケツ(給水袋)リレーなどに取り組み、灯油で燃え上がった火柱が粉末消火器で無事消火できた時は思わず「おー」という声も。隣で行われている餅つき大会にやってきた子どもたちも各種訓練に参加し、賑わっていました。



第4回淀川区子どもまつり

2月12日イーグルボールで「第4回淀川区子どもまつり」が行われました。この日はイーグルボールさんの全面的なご協力、全館貸し切りとなり、プロボウラーによるレッスンのあとゲームを楽しみました。



1階では、食べ物やゲームのブース、バルーンアート、けん玉体験教室、正恩寺バンドによる演奏、三国マルシェの手作りアクセサリーの販売とワークショップのブースも出店され、賑やかな一日となりました。この日の参加料は淀川区子供会へ寄付されました。

地域課題解決型広報紙配布事業

広報紙「よどマガ!」の配布業務を通じて地域課題の解決を図る事業が平成29年度からモデル地域でスタートします。この事業に「高齢者やこどもの見守り」「地域の情報発信」「新たな人材発掘」等の企画提案を行った、三津屋地域活動協議会、十三地域活動協議会、(株)ランプラスが受託することとなりました。



行政の公募事業を地域活動協議会が受託する淀川区で初めてのケースとなりました。「地域のために!」という熱意のある住民による広報紙配布が始まります!

編集後記

H28年度が3月までで終了しますが、H29年度も、淀川区まちづくりセンターの運営を大阪コミュニティ協会が受託することになりました。引き続き、宜しくお願い致します。

淀川区まちづくりセンター

〒532-8501 大阪市淀川区十三東 2-3-3 淀川区役所 4階
TEL 06-6309-5656 FAX06-6309-5657
mail yodogawa-machikyou@festa.ocn.ne.jp
HP <http://yodomachi.jimdo.com/>
Facebook <https://www.facebook.com/ymachisen>



淀川まちセン通信

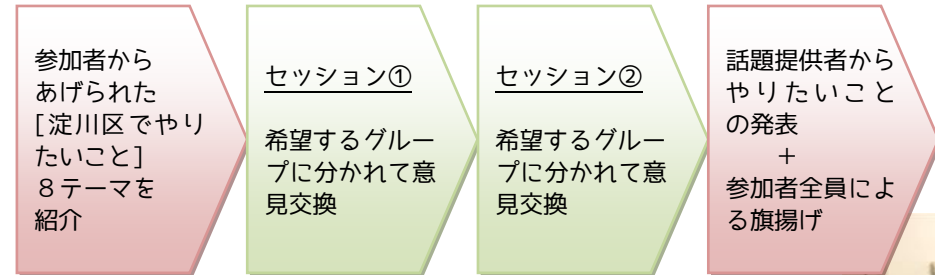


淀川まちセン通信は、淀川区の地域活動協議会に関する情報発信、淀川区まちづくりセンターの活動紹介、多様な地域資源の紹介を目的に、隔月発行しています。

よどまち未来セッション 「淀川区でやりたいこと」が溢れる場に

淀川区の地域活動やまちづくりに関心がある皆さんが集まり、意見交換を行う「よどまち未来セッション」。

3月10日(金)に開催した今回は「淀川区でやりたいこと」をテーマに開催し、地域・企業・専門学校・NPO・施設など様々な立場の方に出席頂き、意見交換を行いました。参加者から事前にあげられた下記8つのテーマから希望するグループに分かれて話し合いました。



- ①子どもがおもいきり遊べるプレイパークをつくりたい!
- ②地域の福祉活動に専門学校生がもっと協力したい!
- ③高齢者が気軽に集まるシニアお気軽講和会を開催したい!
- ④計画道路を活用してスポーツイベントを開催したい!
- ⑤介護予防につながるスポーツを発案して大会を開きたい!
- ⑥淀川区を発達障害に理解のある優しい街にしたい!
- ⑦アートなどの発信の場をつくりワクワクを共有したい!
- ⑧区民センターで人を集めるおもろいことをやりたい!

話題提供者からの発表後に「ナイスアイデア!」「おもろいなあ」「仲間に入れて!」「熱いぜ、感動した!」の4本の旗のどれかをあげていきました。「仲間に入れて!」をあげた方は具体的にお繋ぎしていきます。



従来の担い手だけでなく、専門学校・NPOなど専門性を持った方々による「淀川区のために動きたい」という想いが溢れる場になりました。初めての参加者も多く、新たな発想を知り、つながりが生まれる機会になっていきました。地域の課題を解決していくために、柔軟な発想で多様な人材とつながり、連携していくことで新たな展開につながる可能性を感じました。

まちセン通信

子どもの居場所づくり
北中島



2月15日(水)と3月15日(水)、北中島社会福祉会館で小学生対象の「北中島宿題ひろば」が開催されました。

この事業は「子どもの居場所をつくりたいのだけれど、何から始めればよいか」という地域の方の思いからスタートし、北中島小学校や地元の大阪保健福祉専門学校、その他沢山の方の協力を得て実現しました。

午後3時過ぎ、北中島小学校の子ども達が集団でやってきました。到着すると早速、宿題を始める子ども達。宿題が終わると、地域のボランティアの方々が作ってくださった具沢山の豚汁とおにぎりをいただき、その後はボードゲームや折り紙などで5時までの時間を思いっきり楽しんでいました。

開催前は何人来てくれるか不安もありましたが、いざ蓋を開けてみれば2月は50人強、3月は90人強の参加で、想定外の大盛況。子ども達が「おいしかった」「楽しかった」と言ってくれたことで、4月以降の続行も決まったようです。

子どもの安全管理、受入れ体制の強化など課題もあるかと思いますが、今後も子ども達が安心して過ごせる居心地の良い場所として続いていけばよいと思います。



三津屋小学校
3年生が地域内の



12月1日(木)、2日(金)に三津屋小学校3年生の児童95名が三津屋地域にある株式会社ゴールを訪問し、鍵と錠をつくる工程を、受注から出荷までの説明を受けながら見学しました。

三津屋地域では、地域と企業の連携を課題と考え、地域の防災訓練に企業の参加を求めるなど少しずつその連携を進めています。そんな中、三津屋小学校の校長先生から、地域内で工場見学できる企業はないかと相談があり三津屋地域活動協議会が繋ぎ役となって、この工場見学が実現しました。



当日、児童たちは間近で見学できる手作業の工程に最初から最後まで興味津々！「将来この会社で働きたい！」と話す児童もいて、自分たちが住む地域にある企業として強く関心を持った様子でした。一方、企業側では、子どもの工場見学の受け入れは初めてだったそうですが、しっかり準備されていて説明も非常にわかりやすく、見学される立場の従業員さんも気持ち良く見学受け入れの対応をされているように感じました。

地域が学校と企業の間を繋いだ新しい連携の形を見ることができました。

「西中島地域避難行動見直し事業」
地域を見つめ直し、災害に備える地域作りを



マンション、戸建て住宅、企業・事業所、専門学校が多数あるという西中島地域の特性の中で、多様な主体が地域防災を考える機会をもち、住民の安全確保を図ることを目的に避難行動見直し事業を地域、企業、専門学校と一緒に実施しました。

さらに、昨年度より続けている防災勉強会のまとめとして、「西中島地区防災計画」が完成し、西中島地域の全戸・事業所に配布されました。

【HUG 避難所運営ゲーム】

避難所で想定されるトイレの問題、ペットの受け入れ、帰宅困難者の受け入れ、高齢者、障がいを持った方の対応、役割分担、事前準備など、地域で話し合う機会になりました。



【DIG① 災害時の机上訓練】

災害が発生した際に地域がどのような状況になるのかをイメージするために、まちの構造と災害時に役立つと思われる資源を地図上に記載しました。自分が住むまちを見つめ直す事で、改めて地域の防災を考える機会になりました。



【DIG② 災害時の机上訓練】

災害時の人の動きにスポットをあてて、今、大地震が起こったら、どこで何をしているか、地図上に時間軸で自分の居場所をプロットし、自分がしていると思う事を考え、グループで共有しました。家族の安否、町会の人、ケガ人への対応、道路状況が心配、食料の確保など、たくさんの意見が出ました。



被災地応援 & こども食堂 & 炊き出し訓練

みつや見にナリエ

12月18日(日)にチームみつや主催の「みつや見にナリエ」が三津屋東公園で開催されました。

チームみつやは東日本大震災以降、全国各地の災害現場に出向き、様々な災害支援活動を行っている地域の有志で構成された団体です。



被災地のことを思い、防災について考える機会になればと始まったこのイベントは、6回目を迎えます。従来のテーマに加えて、今回は「こども食堂」を意識し、焼きそばと豚汁の無料提供を行っており、災害発生時の炊き出し訓練にもなっていました。

多くのボランティアスタッフが手際よく準備し、長蛇の列ができていました。寒い夜ですが、たくさん子どもたちが元気に走り回り、ほっこり暖かい気持ちになる素敵なイベントでした。

みんな歌った！ 踊った！

第3回東三国音楽祭

2月12日(日)、東三国小学校で「第3回東三国音楽祭」が開催されました。

東三国小学校器楽クラブ、東三国中学校吹奏楽部をはじめ東三国に縁のある人たちのグループ合わせて9団体が、ジャズ、ポップス、ラテン、ロック、昭和歌謡、なにわブルース、沖縄風音楽などを披露し、会場の皆さんは、歌に合わせて手拍子を打ったり、踊ったり……。午後の3時間半、小学校講堂は熱気に包まれました。



この音楽祭は、3年前に大阪市の自立的な地域運営を支援するための活動補助金(マッチングファンド)を使用してスタートしました。そして2年が経過し、地域の行事として今後も続けていこうと、今年度から地活協の活動費補助金のなかで実施されることになりました。

来年度も春頃から実行委員会を組織し、企画を練っていく予定だそうです。ますます東三国に音楽祭が根付き、枝を広げていけば素晴らしいなと思います。